

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	表現研究Ⅱ (CR)		(TCH103)
講義名 (コード)	TCH_表現研究Ⅱ_C		(TCH103C)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	塩見 知恵子	時間数	30
成績評価教員	塩見 知恵子	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が立場の異なる他者と適切に対話するために、その場に応じた表現で自分の意見が伝えられるようになる。
全体の内容と概要	N2レベルの文法を自在に運用できる力を身につける。またN1レベルの文法を理解できるようにする。
授業時間外の学修	予習：練習帳のN3の箇所を事前にやっておく。 復習：授業で学んだ文法を復習する。
履修上の注意事項等	学生の希望等によりスケジュールは変更する場合がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	L8、L9の表現が理解できる	L8 限定「～に限り」 L9 非限定「～ばかりでなく」 文法解説、練習帳
2	L8、L9の表現を使用できる	L8 限定「～に限り」 L9 非限定「～ばかりでなく」 応用練習
3	L10の表現が理解できる	L10 比較・程度・対比「～くらいなら、～どころか」 文法解説、練習帳
4	L10の表現を使用できる	L10 比較・程度・対比「～くらいなら、～どころか」 応用練習
5	L11の表現が理解できる	L11 判断の立場・評価の視点「～にとって」 文法解説、練習帳
6	L11の表現を使用できる	L11 判断の立場・評価の視点「～にとって」 応用練習
7	L12、L13の表現が理解できる	L12 基準「～に基づいて」 L13 関連・対応「～に応じて」 文法解説、練習帳
8	L12、L13の表現を使用できる	L12 基準「～に基づいて」 L13 関連・対応「～に応じて」 応用練習
9	L14の表現が理解できる	L14 無関係・無視・例外「～を問わず、～はともかく」 文法解説、練習帳
10	L14の表現を使用できる	L14 無関係・無視・例外「～を問わず、～はともかく」 応用練習
11	L15の表現が理解できる	L15 例示「～にとか～とか」 文法解説、練習帳
12	L15の表現を使用できる	L15 例示「～にとか～とか」 応用練習
13	一年間の学習項目の確認ができる	L1～L15の復習 期末試験対策
14	期末試験	期末試験
15	期末試験解説	期末試験解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『どんなときどう使う文法練習帳』
参考文献・資料等	『どんなときどう使う日本語表現文型500』 『日本語文型辞典』
備考	